

平成 29 年度情報セキュリティ対策に係る「研修」と「自己点検活動」の実施

企画管理部 企画連携室情報専門役 浜田善幸

情報セキュリティの重要性が高まる中、農研機構では、毎年度、情報セキュリティに関する教育(研修と自己点検活動)を実施することを規程で定めています。なお、今回の対象者は、機構の業務に従事している全役職員等(役員、常勤職員、契約職員、再雇用職員、派遣職員、共同研究員等)であり、メールアドレスを支給されていない方も含まれています。

特に、行政との連携を積極的に図っている農村工学研究部門では、情報の漏洩などの事態が起こらぬよう、情報セキュリティの確保が重要な課題となります。そこで、本部門では、研修効果をより高めるため、集合形式で研修と自己点検活動を行うこととし、7月13日より8月24日までの間で9回、実施することとしています(対象者はそのうちどれか1回参加)。

なお、プレゼンテーション資料に基づく解説では、情報セキュリティ確保の3要素である「機密性」「完全性」「可用性」の説明から始まり、ランサムウェアや標的型攻撃といった最近急増している情報セキュリティリスクについての紹介を経て、農研機構が実施している情報セキュリティ対策について注意喚起を行うとともに、パスワードに関するノウハウの例示なども行います。



解説をする安中上級研究員



7月13日の受講風景(受講生 41 名)